

福住(明德)女子準V

ゴルフ
全国高校春季

ゴルフの全国高校春季選手権は31日、兵庫県内で男女の最終ラウンドを行い、三木よかわCC(パー72)で開かれた女子の部で、明德義塾高2年の福住あいが通算3アンダー、213で準優勝を飾った。県勢女子の表彰台は2003年に女子の部を制した横峯さくら(明

徳)以来、20年ぶり。1打、2位で出た福住は、この日3バーディー



3アンダーで準優勝を果した明德高の福住あい(兵庫県三木よかわCC)

は3打差をつけられたものの、最終18番をバーディーで締め、3人の2位グループに入った。

▽男子(オリムピックGC 117175、パー72) 66
小松大洋(高知中央)234(81、77、76) 福原渡夢(同)239(77、80、82)

▽女子(2022年) ②福住あい(明德)213(70、72、71) 37 34 ③岸本千空(高知)232(78、75、79)

「我慢のゴルフ」手応え

福住は全国舞台で初の最終日最終組。ショットの乱れに手を焼きながらもアンダーパーにまとめて2位に食い込み、「すごい緊張感の中、我慢のゴルフができました」と声を弾ませた。

監督の助言を胸に、アイアンで丁寧リカバリ。18番パー5ではラフからの第3打をピンに絡め、この日三つ目のバーディーで締めた。

県勢では、20年前に春夏の全国大会を連覇した横峯さくら以来の表彰台。偉大な先輩の背中も見詰めながら「自分のゴルフの幅を広げられた。この経験を夏につなげます」と充実の春を振り返った。(横田幸成)

◆ゴルフ 全国中学校選手権春季大会最終日(31日・兵庫県三木GC)女子6070(パー72)
▽女子 ①井上蒼海奈(高知)224(75、76、73) ②福崎美々(明德)228(76、75、77)